

# 令和 2 年度事業報告書

特定非営利活動法人 ネクスト

## 1. 活動の成果

### 【はじめに】

障がい者の働く場の確保と自立した社会生活を送れるように支援を行うことを目的に平成 24 年 11 月設立、同年 12 月、就労継続支援 A 型事業所として活動を開始した特定非営利活動法人ネクストは第 10 期を迎えることとなりました。また、平成 27 年 4 月に開設した B 型事業所は第 7 期目に入りました。

1 年前の春ごろから猛威を振るい始めた新型コロナウイルスは、現在に至っても収まる気配を見せず、職員一同、利用者の安全を守るべく策に迫られた 1 年となりました。この努力もあり、また、県や財団などからの助成金を活かし空気清浄機能付きエアコンなど対策のための備品が設置できたことも大きな助けとなったこともあり、ネクストの従業員に感染者及び濃厚接触者は出ておりませんが、対策の手を緩めることが出来ない状況はまだまだ続きそうです。このような状況下でありながらも事業的には成長を続けており、従業員全員の雇用が継続できました。これにはフロンティア株式会社の大きなご尽力もあったと感謝しています。行政と連携した不要布団のリサイクル事業、エアリーシリーズや田村駒様から受注のチューニングピロー、低反発ウレタンシリーズ、羽毛布団などの寝具や軍手事業と、年を追うごとに事業が拡大しており、令和 2 年度は新たに西脇市和田の新事業所にて低反発チップ素材をリユースした寝具製造も始まり順調に推移しています。

令和 3 年 4 月 1 日現在で「A 型事業所ネクスト」は 33 名の利用者、「B 型事業所 econte」は 16 名の利用者が在籍しています。前年同時期に比べると、ネクストは多少の出入りがあったものの同数、econte はプラス 2 人となっています。

昨年度の取組みと同様、個々の希望や適性に応じて、「A 型から B 型へ」「B 型から A 型へ」の移行を行い、同一法人で A 型と B 型を運営するメリットを生かした取組みがここ数年で定着してきたように思います。令和 2 年度はコロナ禍での活動を余儀なくされた 1 年でもありました。その影響は多方面にわたりましたが、他の福祉サービス事業所や一般就労への移行支援に関しても影響を受

け、思うように進まなかったというのが現実です。ただ、令和2年4月1日付で一般就労に送り出した1名は1年が経過した現在も継続して就労していると聞いており、少し前には一回りたくましくなった姿でネクストを訪ねてくれ、ネクストに感謝していること、元気でやりがいを持って仕事が出来ていること、皆さんが良くしてくださることなどを報告してくれました。非常に喜ばしく感じると共に、今後も続いて、このように巣立っていく方を育てなければならないとの思いを強くしました。

## 【学校機関との連携の深化】

～修学（卒業）から就労へ直接つながる支援体制の確立を目指して～

新型コロナウイルスの影響は校外実習や体験受入れなどの活動にも影響を及ぼしました。しかしそのような中でも今年度も学校機関より校外実習の受け入れを行い、4月1日よりネクストでは兵庫県立高等特別支援学校より1名、econteでは北はりま特別支援学校より4名が利用開始となりました。またeconteには、北はりま特別支援学校より教育公務員特例法に基づく新任教員の初任者研修の受け入れ依頼があり、8月に2名を受け入れました。これらは何年にもわたって学校機関との連携への取り組みを行ってきた成果であり、当団体が福祉事業所として名実ともに認可されたことの証と喜んでいきます。

このように支援学校との結びつきは段々と強くなってきており、支援学校からネクストへという道のりは出来上がりつつあるように感じています。今後は昨年目標として掲げた、「ネクストから一般就労へ」という道の開拓をより一層推し進めたいと考えています。前述の通り、今年度はコロナ禍の影響で思うように一般就労への移行支援に関する活動が出来ない状況でした。令和3年度は状況を見ながらではありますが、支援相談員と密に連携を取りながらこの活動を実施していきたいと希望しています。「支援学校→福祉サービス事業所→一般就労」というステップアップ体制の構築への取り組みに対しては、行政からの期待と評価は年々増してきています。ネクストとしてもこの取り組みが就労継続支援事業所としての使命だと認識すべきだと考えており、～就労場所の提供という役割・通過点としての役割～でもこの考えを述べさせていただいています。

## 【地域貢献事業】

～学校機関への資源ごみ提供活動～

28年1月、「修学から就労へ」の取り組みの一環として活動を開始した近隣小中学校や特別支援学校への資源ごみ提供活動は、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、支援学校・近隣中学校が年度当初から休校となりました。また休校が解除されても感染拡大防止の必要性により支援学校への訪問が困難で、また近隣中学校の資源ごみ回収事業も中止や延期が相次いだため、提供はアルミ缶のみで95kgと前年度の実績には遠く及びませんでした。従来は北はりま支援学校へは作業学習の時間に伺い、生徒の皆様と交流する時間を設定していただいていた。しかし3年度は感染拡大防止の観点から「交流する」ことがかなわず、生徒の皆さんが下校した放課後にお持ちするという活動に切り替えました。本来の目的は交流することで、資源ごみ提供は二義的な目標でしたが、コロナ禍の現在は出会う事すら困難という残念な1年となりました。早く感染拡大が収まり、また以前のように交流できる日が来ることを心より祈っています。

## 【二つの役割】

### ～就労場所の提供という役割・通過点としての役割～

ネクスト開設当初は、障がい者の就労できる企業・施設がほとんどない地域で障がい者の方に「就労の場を提供する」ということが第一の目的でした。ここ数年ネクストの認知度は高まり、地域の方々はもちろん近隣の障がい者支援にかかわる福祉施設との連携が深まり、多くの方々に利用いただけるようになっていきました。「就労の場を提供する」という役割については地域での評価をいただけるようになったと感じています。

令和元年度は法人全体で6名の方が一般就労に移行するという大きな成果を残すことができましたが、令和2年度においては残念ながら法人全体で1名のみという不本意な結果でした。これは新型コロナウイルスによる世の中の自粛意識が大きく影響し、実習や体験などの一般就労に向けた動きがほとんどできない状況や、受け入れ先である一般企業のコロナ禍での苦境を考えると致し方ない結果であったと思います。令和3年度に入っても新型コロナウイルスの猛威は止まらず、一般就労への移行は困難な時期が続くことが予想されます。今は、平時に戻り景気回復した時に備えて、利用者の就労能力を高めるための訓練や、その時に必要とされる人材へとになっていけるよう運転免許等の資格取得支援にも力を入れるなど、今後の移行につなげる努力をすべき時だと考えています。

## 【資格取得支援事業】

～ステップアップしていける就労支援を目指して～

### これまでの取組

ネクストでは公共交通機関が発達していない地域の現状を考慮して、利用者の方の運転免許資格取得支援に力を入れてきました。私たちの活動する地域では一人一台車が必要と言われるくらい交通の便が悪い地域となっており、一般就労をめざすうえではもちろん、日常生活を送るうえでも移動手段の確保は必要な課題と言えます。そこでネクストでは開設以来、利用者の方の免許取得支援に力を入れてきました。支援内容としては「教習所や運転免許試験センターへの無料送迎」「事業所での勉強会の実施」などに取組みましたが、それらの支援の成果が実を結び、これまでに7名（A型6名、B型1名／普通自動車4名、自動二輪1名、原付2名）が免許を取得しています。その結果1名は一般就労への移行を実現し、4名は事業所の送迎利用から自力通所へと切り替えを果たしており、一般就労移行を視野に入れる段階にステップアップしています。令和2年度も1人が教習所に通い卒業しました。時給を担保した上での勉強会を実施しながら有休を利用し運転免許試験センターでの試験に何度もチャレンジしたのですが、残念ながら合格には至りませんでした。本人やご家族にとってもつらい経験だったとは思いますが、目標に向かって努力する経験ができたことは今後生きてくると思っています。

上記の通り運転免許取得は、当地域では一般就労移行に必要な最低限の資格であると言えます。ただ、運転免許があるだけでは一般就労移行は困難で、仮に移行できたとしても長く定着していくことはさらに困難であると感じています。そこでネクストでは平成29年度から、一般事業所に移行した後も役に立つ資格として「フォークリフト資格取得支援」を開始しました。「フォークリフト資格取得支援」の具体的な支援内容は、「受講費用の全額を法人で負担」「受講時間も勤務時間に算入することで、受講中の給与保障」を行い、利用者の方の負担無くフォークリフト資格を取得していただく取り組みとなっており、この取り組みによりこれまで2名の利用者の方がフォークリフト資格を取得し、事業所でのフォークリフト業務に従事していただくようになっています。令和2年度はコロナ禍も影響しチャレンジには至りませんでした。令和3年は状況を見ながらではありますがこの取り組みを再開したいと考えています。フォークリフト資格を取得し実際の業務に従事する中で、物流に関連した一般就労移行を検

討している方もいらっしゃるのですが、前述の通り令和 2 年度は一般就労への動きがほとんど出来ず移行を果たすことは出来ませんでした。しかしこの取り組みは新たな道を開拓する基礎となりつつあります。

### 新たな取組

令和 3 年 4 月 1 日より、利用者の一般就労に向かったのスキルアップや、職員の資質向上と支援能力向上を目指して、資格取得に対する支援強化の一環として「資格取得支援規定」を定め運用することとなります。対象資格は下記の通りとなっています。

- 社会福祉士
- 介護福祉士
- 精神保健福祉士
- 公認心理士
- サービス管理責任者
- 危険物取扱者
- フォークリフト運転技能講習修了者

これらの資格取得に当たり、受講料や交通費、講習費用の補助、試験日における特別有給休暇の付与、合格祝金の支給、資格給の支給（一部の資格のみ）を行います。この制度が資格取得のハードルを下げることとなり、チャレンジへの後押しとなることを期待しています。

### 【施設外就労の開始】

令和 2 年 3 月よりフロンティア株式会社と業務請負契約を結び、リフレッシュセンター事業所、中町工場、寺内作業所、和田作業所（令和 2 年 11 月より）への施設外就労を始めました。従来は、ネクスト八千代工場が主たる事業所でその他が従たる事業所という形で運営していましたが、それを廃止しました。地域の企業であるフロンティア株式会社と連携し付加価値の高い商品開発をし、A 型事業に対する固定概念にとどまらない「一般企業に負けないものづくり」を実現しています。また何より、民間企業での就労は、利用者さんにとっては就労能力の向上や一般就労への移行に資することであると考えています。

## 2. ネクストの製造事業

### 【布団リサイクル事業】

令和 2 年度も地元繊維会社フロンティア株式会社から受注している不要布団を原料としたリサイクル寝具の製造に取り組みました。

原料となる不要布団の回収先は元年度 1 か所増加し（岐阜県安八郡）、10 市 3 町 8 か所のクリーンセンターへと広がっています。また、それ以外の複数の市町から布団回収に関する問い合わせをいただいております。今後も回収量は増加し、布団リサイクル事業は拡大することが予想されます。布団リサイクル事業は障がい者就労、環境保全という「福祉」「環境」2 つの社会的課題に寄与できる活動として、今後も継続していきたいと考えています。

### 廃棄布団の回収実績

【参考】 布団回収実績（令和 2 年 1 月～令和 2 年 12 月）

回収先	重さ	枚数
自治体クリーンセンター	171,825 kg (前年度比 -8,208 kg)	68,730 枚 (前年度比 -3,856 枚)

### 回収先自治体（※別紙 参照）

加西市、小野市、加東市、西脇市、多可郡多可町、養父市、朝来市、大和郡山市、加古川市、枚方市、丹波市、岐阜県安八郡輪之内町・安八町

上記クリーンセンターからの回収以外にも近年では地域住民の方がリフレッシュセンターや econte に不要となった布団を持ち込んでくださるようになり、地域に根差した活動基盤を確立できつつあるように感じています。また遠方の方も、ホームページを見て持ち込んでくださったり、「捨てるのはもったいないし、近くでこのような事業をされているところがないから」と高額な送料を負担してまでもお送りいただいたりと、製造業としての付加価値と希少価値を感じます。

### 【寝具等製造事業】

#### エアリーシリーズ

25 年度から受注が始まったアイリスオーヤマのエアリーシリーズは、2 年

度も引き続き順調な受注があり製造を行いました。令和3年度も、引き続きエアリーシリーズの寝具類組み立て製造を受注する予定をしています。

## **田村駒『チューニングピロー』シリーズ**

---

「田村駒株式会社」よりいただいておりますチューニングピローの製造は、令和2年度も非常に多数の発注をいただきました。ネクストだけでは生産数が追いつかず、近隣B型事業所にも製造を委託し協力して作業に取り組みました。近隣事業所との提携を深め、生産量向上に努めていきたいと思っています。

## **低反発ウレタンリユースシリーズ**

---

30年度から開始した低反発ウレタンリユースシリーズは2年度も多くの受注をいただきました。低反発ウレタンを中材としたマットレスは年間実績が4,400枚余り、敷布団は月平均約400枚の製造をしています。この低反発素材はトゥルースリーパーで大変有名となり今現在も需要が高まっています。

また、令和2年より低反発ウレタンの端材をチップ状にした資材を利用した、座布団・枕・クッションの製造がはじまりました。月平均として、座布団は約1,000枚、枕は約100個、クッションは100～200個するまでになっており、利用者の方に提供できる作業量は確実に拡充していますし、今後ますますの拡充が見込めます。

## **羽毛製品**

---

クリーンセンターからの回収布団に占める羽毛布団の割合は一定量あり、安定した原料の確保ができています。今後は「リサイクル羽毛布団の生産・販売」だけでなく、「リサイクル羽毛の原料としての販売」など製造コストを抑えて利益を上げる工夫をフロンティア株式会社とともに進めていきたいと思っています。

## **【軍手製造事業】**

リサイクル綿を使用した軍手の製造・販売は令和2年度もeconteを中心に継続しました。令和元年度まで多くの在庫を抱えていましたが、フロンティア株式会社のご尽力で大口注文を受け、令和2年度は適正な在庫数となっています。またコロナ禍の影響を受けることを懸念していましたが、各市町村や近隣地域区長会など前年から引続き同等数の受注がありました。ネクスト全体の事業収入

から見て決して大きな割合を占めるものではありませんが、それ以上に、「近隣行政や近隣コミュニティとの繋がり」、「リサイクルから生まれているという付加価値」という観点から見て、とても意義のある事業だと感じます。

### 3. その他の取り組み

#### 【安全・防犯・健康を高める事業】

##### 新型コロナウイルス感染防止の取り組み

---

令和2年度は終始新型コロナウイルス対策に追われた1年でした。幸いなことに、令和3年5月現在、ネクストの利用者さん、職員、及びその家族に感染者や濃厚接触者は出ておらず、お陰様で平常通り活動をさせていただいております。ただ、一人でも感染者が出た場合一定期間の閉所も視野に入れた対応が必要となり、生活困窮者が多い利用者さんの収入を確保できなくなる可能性もあった中、全職員の意識向上や利用者さんへの対応に大変苦慮しました。「マスク着用の義務化」はもちろんの事、「毎朝自宅での検温の指示」「送迎車での検温・消毒」「出勤時、昼食時、退勤時、その他随時、検温、アルコールによる消毒や手洗いの徹底」「毎日の朝礼での利用者さんへの啓発」「ポスター貼り付けや文書配布による啓発」等、考え得る可能な対策は講じてきたつもりです。その成果もあったのか、通常通り継続して利用させていただいております。

ただ、活動継続には大きな不安がありました。全事業所の利用者さんの休憩室はどうしても「密」の状態になりますし、econteにおいては就労人数の割には作業場所が手狭であり「密」状態です。近年の夏場の高温や、北部に位置する八千代工場の冬場の厳しさなどを考えるとエアコンは必要で窓を開け放ち換気をことは難しくなります。また、食事の際はマスクを外しますのでますます感染リスクが高まります。これらを考慮すると今までの対応だけでは不十分であるとの危機感が常にありましたし、利用者さんとしても密になることへの不安があるようでした。

その様な中、厚生労働省、木口福祉財団、兵庫県勤労福祉協会から新型コロナ感染予防対策に対する助成金をいただけることとなり（詳細は別紙助成申請一覧表）、各休憩室や作業場に空気清浄機能付きエアコンや空気清浄機を設置することが出来ました。これにより安心して作業に集中でき、また、憩いの場である休憩室に安心して皆が集えるようになったと考えています。また

econte では給湯器を設置し、こまめな手洗いの励行を促進できました。多くの不安を取り除くことができご助成に対して感謝の気持ちでいっぱいです。

## 定期健康診断の実施

---

令和2年度も3月に八千代工場で「定期検診」を実施しました。ネクストで社会保険に加入している利用者・職員全員を対象に毎年実施しています。受診日は送迎車両を使用して4事業所から対象者の送迎を行い、また受診時間中を就労時間に算入し給与保障を行うことで、全員が負担無く受診できる体制を整えています。当日受診できない方は、近隣で実施される予備日の定期健診にて受診を促しており、予備日の受診者も含めて今年度は32名の利用者・職員が受診しています。

## 【施設・設備に関する取組】

### 八千代工場全棟LED化事業

---

- ◆ 公益財団法人神戸やまぶき財団 2020年度後期助成金
- ◆ 2021年度日本郵便年賀寄附金配分事業

令和3年5月2日(日)、ネクストの悲願であった、「全棟の照明LED化」がとうとう現実のものとなりました。これまでネクスト全棟の照明は水銀灯と蛍光灯でした。現在国内で蛍光灯照明器具・水銀灯は製造されていません。一定以上の水銀量を有するランプは「製造」のみならず、「輸入」すら原則禁止となりました。そのため、早期に照明設備をすべてLED照明等に変更する必要性が生じていました。さらに、すでに寿命のため一部の水銀灯から切れてきており改修に待たない状況でした。しかし全棟の照明をすべてLED化するとなると1,000万前後の費用が必要となります。資金面で実現不可能だったLED化。財団等に助成金を申請しましたところ、「日本郵便」・「神戸やまぶき財団」様よりネクストの活動と現状に対してご理解とご評価をいただき、ご採択いただくこととなりました。

LED導入により「省エネと快適な仕事環境」が両立できます。省エネがもたらす優れた環境性はもちろんのこと、天井が高く大変な球の取り換えもLEDの耐久性により頻度が格段に減ることなど、メリットが多くあります。そして何より「明るいから仕事がしやすい」という点がありがたいと感じま

す。ネクストだけでは実現できなかったこの LED 化に対する多額のご助成に心より感謝し、いただいたご期待に背かぬよう、利用者、職員共々精一杯の努力をしなければならぬと思います。

### **【助成金事業】**

上記 LED 化事業を含め助成金事業は別紙「助成金実績一覧表」の通りとなります。今年度も多くの団体よりネクストの活動に対しご理解をいただきご採択いただきましたことに心より感謝しています。

## **4. 事業実施体制**

### **【会議に関する事項】**

#### ① 通常総会

新型コロナウイルスの蔓延に配慮し通常総会は開催せず、法第 14 条の 9 及び定款第 29 条に基づき、書面表決による決議とした。

#### ② 理事会

開催日：令和 3 年 5 月 31 日（月）17：30~18：20

特定非営利活動に係る事業

定款に定める事業	実施内容	実施日時	実施場所	従業者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 (千円)
障がい福祉サービス事業	就労継続支援A型 (ネクスト)	月～金 9:00～17:00	西脇市 多可町	14	多可町、西脇市、 小野市、丹波市、 加東市在住の障 がい者20名及び 施設外就労20名	162,559
	就労継続支援B型 (econte)	月～金 9:00～17:00	西脇市	5	同上 定員20名	31,316
地域生活支援事業	介護、家事援助等	準備段階	—	1	—	0
地域住民との交流事業	交流スペース運営等	準備段階	—	1	—	0
寝具等のリサイクル事業の 推進及び啓蒙事業	寝具リサイクル事業への 取り組み PR の DVD・ホ ームページや facebook に よる活動の紹介や不要布 団引き取りに関する広告	常時	主に WEB 上	3	関係機関、一般	0
介護タクシー支援事業の推 進及び啓蒙事業		準備段階	—	1	—	0